

小学生サミット こどもの権利に関する意見まとめ

小学生サミット概要

日 時	令和 6 年 11 月 20 日(水) 15 時～16 時 30 分
場 所	富田林消防署 4 階 議場
参加校	市立小学校 16 校
内 容	①子どもの権利条約について、自分にとって大切にしたい権利とその理由を発表 ②グループごとに意見交流

子どもの権利条約で大切にしたい権利とその理由

○権利(条文)別の整理表

項目	校数	主な意見
2 条 差別の禁止	10 校	・ 悪口や仲間はずれがなくなる。 ・ 差別で嫌な思いをしたり、何かを失ったりするのは違う。 ・ 障がいのある人も同じ人間。仲間外れにされた側が悲しくなる。 ・ 自分の親、国、性など違うところがあっても差別はいけない。 ・ 差別は相手が傷つく。学校に行くのが嫌になる。 ・ 男の子だから、女の子だからというのもなくなればいい。 ・ 自分がされて嫌なことを相手にするのはおかしい。
6 条 生きる権利・育つ権利	4 校	・ こどもだからと言って命が軽いわけではない。 ・ 当たり前だからこそ、条約に書かれていることに驚いた。
8 条 名前・国籍・家族関係が守られる権利	1 校	—
9 条 親と引き離されない権利	1 校	・ 親とこどもが一緒にいることが当たり前ではない家庭もある。
12 条 意見を表す権利	5 校	・ 意見を言うのは大切で、大人のせいでは意見を出せないのは違う。 ・ こどもの意見を聞いてこどものことを決めることが大事。 ・ どんなこどもも自分の意見を言う、否定されないことが大切。 ・ ただ聞くだけでなく、受け入れてくれることが大切。聞いてくれることは安心につながる。
16 条 プライバシー・名誉の保護	1 校	—
18 条 子どもの養育はまず親の責任	1 校	・ 生きる、育つためには家族の協力が必須。
19 条 あらゆる暴力からの保護	1 校	・ こどもは大人より弱い。暴力は間違っている。言葉の暴力も同じで心にダメージを受ける。
23 条 障がいのある子ども	2 校	・ 障がいがあっても、周りのサポートで生きていくことができる。
29 条 教育の目的	1 校	・ 楽しく勉強することが好き。戦争でこれができなくなると悲しい。

項目	校数	主な意見
31 条 休み、遊ぶ権利	9 校	・ 遊ぶことで友達との関わり方を学べる。 ・ 休むことや遊ぶことで想像力が育つ。また、様々な経験ができる。 ・ 家の人の手伝いをしていて好きな遊びができないこどもがいることを知った。 ・ 習い事をしていて、休んだり遊んだりすることができないこどももいる。 ・ 休みたいのに親に無理やり勉強させられているこどももいるはず。 ・ 空調のない部屋や体育館があり、環境が整えられていないので授業を快適に受けられなかったり、遊ぶことができないこともある。
33 条 麻薬・覚せい剤などからの保護	1 校	—
36 条 あらゆる搾取からの保護	2 校	・ 幸せを奪って利益を得ることは自分勝手。 ・ 戦争で当たり前のことができず幸せに生きられないこどもがいることを知った。
37 条 拷問・死刑の禁止	1 校	—
38 条 戦争からの保護	4 校	・ 第 1 条で子どもは 18 歳までとされているのに、戦争は 15 歳から行ってもいいのはおかしい。生きる権利、教育を受ける権利を守ってほしい。 ・ 国語の授業の「たずねびと」で、広島の前爆について学んだため。 ・ ウクライナやイスラエルの件も関連している。

※項目の表記は、公益財団法人 日本ユニセフ協会「子どもの権利条約 第 1～40 条抄訳一覧」を参考にしたもの

※主な意見欄が「—」となっているものは、大切だと思う権利としてあげられたが、理由の発表がなかったもの

※学校ごとにあげられた権利の個数は異なる。また、権利を順位別で発表されたものについてはその順位を考慮しない

まとめ

- 約 40 個ある様々な権利の中から、15 の異なる権利が選ばれた。
- 差別の禁止(2 条)が 10 校で最も多くの学校で大切にしたい権利とされており、次いで、休み、遊ぶ権利(31 条)が 9 校、意見を表す権利(12 条)が 5 校と比較的多くの学校で選ばれた。
- 各条文以外に関する意見として、以下のようなものもあった。

- ・ 全部大切に守らないといけないもの。ポスターなどで、こどもの権利をもっと広めたいと思った。
- ・ 大人だけでなく、こどものための権利があることを知った。
- ・ たくさんの権利に守られていることを知り、安心した。
- ・ わがままや自分勝手ではなく、権利を主張するには、人を思いやり正しい行動を心掛ける。

グループごとに意見交換

(主な意見)

- 他校の発表を聞いて、共通で大切だとあげられた権利も多くあることがわかり、みんな同じことを考えているのだと思った。
- みんなで改善すれば富田林がもっと良くなるのではと思った。
- 大切に考える権利は人それぞれであり、すべての権利が大切だと思った。
- 調べていることは同じでも、発表の方法や伝え方の違いで各校それぞれの個性が出てとてもいいと思った。